



学校だより

(冬休み号) 令和3年12月24日発行

<http://shibiraki-e.saitama-city.ed.jp/>

【学校の教育目標】

- ◎ 夢 (ゆめ) にむかって ともに学びあう学校
- ・すすんで勉強する子
- ・自分からあいさつのできる子
- ・仲よくたすけあう子
- ・じょうぶな子

人権週間

～ブルーリボン運動と横田めぐみさんへの手紙～

校長 白石 徳一郎

師走の候、皆様におかれましては、ますますご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。2学期を振り返りますと、新型コロナウイルス第5波が猛威を振るった夏休みが明け、家庭でのリモート学習と学校での学習を選択できるハイブリット授業を行いました。10月には緊急事態宣言が解除され、校外学習も全学年で実施することができました。授業では一人ひとりがタブレットを使って勉強する授業が増えてきました。タブレットを使って意見を提出したり、友達と考えを交流したりする場面を見ると、従来の学習に比べて効率的で、学習が面白くなったのではないかと感じます。新しい技術を学び、世の中が便利になっていくことは素晴らしいことです。また、11月2日には、6年生対象に横田めぐみさんご両親についての特別授業を行いました。その中で救う会埼玉代表の方から毎月第2日曜日の午後2時から4時に、浦和駅西口ロコソ前で街頭署名活動を行っているお話をお聞きしました。すると、11月の第2日曜日に本校の二人の6年生が街頭活動に来て募金をしてくれましたと連絡を受けました。6年担任に聞いてもらったところ、この二人以外にも街頭活動に行ったという児童がいました。この問題に一人でも関心をもってくれたらと思っておりましたので、大変嬉しく思いました。

さて、12月は4～10日が人権週間、10日は国際人権デー、10～16日は北朝鮮人権侵害問題啓発週間でした。8日の全校朝会で横田めぐみさんと北朝鮮拉致問題について、低学年の児童にも分かりやすく話しました。日本にはブルーリボン運動という運動があり、青いバッチは「北朝鮮による拉致被害者が生きていること、救い出せることを信じています」という意味があること、青には「北朝鮮と日本を隔てる海と、北朝鮮と日本をつなぐ空の2つの意味がこめられていること」などをお話しました。すると、ブルーリボンバッチはどこに売っているのですか、と聞きに来る児童が複数いましたので、ブルーリボンバッチは、街頭募金などで500円以上募金するともらえる物であることを伝えました。もし、ブルーリボンバッチをほしい方がいらっしゃいましたらご連絡ください。



ブルーリボンバッチ

また、産経新聞社が「めぐみさんへの手紙」を募集していることを紹介しました。選ばれた手紙は新聞に掲載され、拉致問題について広く知ってもらうための特集記事として活用され、すべてのお手紙はめぐみさんのお母様に届けられます。すると、たくさんの児童が手紙を書いてくれました。とても温かい優しい気持ちが伝わってくるお手紙でした。めぐみさんのお母様やご家族の皆様もこのようなお手紙をご覧になると、きっと嬉しいことでしょう。子どもたちの思いがめぐみさんにも伝わりますようにとお祈りしています。応募条件は400字詰め原稿用紙1～5枚です。原稿用紙でない新聞には掲載されないようですが、小さな便箋などに書いた手紙でも、横田めぐみさんのお母様には届けてもらえます。応募対象は小学生から成人までとなっています。校内締め切りは1月25日(火)ですので、もし、よろしければご家族で取り組んでもらえたら幸いです。

2学期も、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございました。どうぞ、よいお年をお迎えください。

<児童のお手紙から> (一部抜粋)

- ・もし自分だったら、つらいな、こわいなと思いました。お母さん、お父さんの気持ちを考えると、とても心配な気持ちになっていると思います。めぐみさんは、まだ帰ってきません。きっとぶじで帰って来ることをいっています。
- ・ずっとずっと家ぞくに会いたい気持ちでいると思います。ぼくが、あなたの立場だと、思う気持ちは一つです。それは、「お母さんから生まれてきた。だからこそ、お母さんは心の中にいるよ。私もお母さんの心の中にいるよ。」という気持ちです。めぐみさんは一人じゃないですよ。お父さんや、お母さん、ぼくも、みんな、いつもめぐみさんの近くにいます。めぐみさんは遠くにいても絶対一人じゃありません。めぐみさんには、お母さん、お父さん、ぼく、みんながついています。
- ・つらい中、めぐみさんや、つれていかれたみなさんは、がんばっているのがすごいです。わたしだったら、家族にも会えない、友達とも会えないで、なみだで顔がもうぐちゃぐちゃだと思います。自由がめぐみさんたちにいつかきつとくるのを願っています。いつか、光を手にしませうね。
- ・わたしは、めぐみさんがつらい思いをしたことを知って、生まれ変わったら、また優しくしてくれたお母さん、お父さんにめぐり会って、幸せになってほしいと思っています。なので、わたしは、かんたんに命を落とすようなことを絶対にしないし、目の前に助けられることがあるなら、助けたいと思います。
- ・お母様、めぐみさんとの絆の糸は切れたりしません。めぐみさんもお母さんも、二人とも「会いたいな。」と思っています。二人はどんなにはなれていても、心はいつしよです。きっとめぐみさんは帰ってきます。みんなでおうえんしていますよ。